

臨床研究に関する公開情報

沼津市立病院では、下記の臨床研究を実施としています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の「当院の連絡先」までお知らせください。

承認番号	2023-003	
研究課題名	喉頭腫瘍の発症および発癌メカニズムに関する研究	
当院の研究責任者	所属・役職	耳鼻いんこう科 部長
	氏名	佐々木 豊
他の機関および責任者	総合病院聖隷浜松病院・耳鼻咽喉科・部長・岡村純 総合病院聖隷三方原病院・耳鼻咽喉科・部長・野田和洋 藤枝市立総合病院・耳鼻いんこう科・部長・橋本雄一 金沢大学附属病院・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・教授・吉崎智一 国立国際医療研究センター病院・耳鼻咽喉科・診療科長・田山二郎 新潟大学医歯学総合病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・堀井新 自治医科大学附属病院・耳鼻咽喉科・教授・金澤文治 静岡済生会総合病院・耳鼻咽喉科・副院長・医長・武林悟 焼津市立総合病院・耳鼻咽喉科・科長代理・杉山夏樹 鳥取大学医学部附属病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・准教授・福原隆宏 琉球大学病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・鈴木幹男 信州大学医学部附属病院・耳鼻咽喉科頭頸部外科・教授・工藤 山梨大学医学部附属病院・頭頸部・耳鼻咽喉科・教授・櫻井大樹 三重大学医学部附属病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・竹内万彦 名古屋市立大学病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・岩崎真一 近畿大学奈良病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・臨床教授・家根旦有 奈良県立医科大学附属病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・北原紘 千葉大学医学部附属病院・耳鼻咽喉・頭頸部外科・教授・花澤豊行 群馬大学医学部附属病院・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・教授・近松一朗 東海大学医学部付属病院・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・准教授・和佐野浩一郎	
情報の利用目的・利用方法	喉頭乳頭腫は代表的な喉頭にできる良性腫瘍です。0～5歳、20～30歳に発症のピークがあります。治療は原則として外科的切除のみです。良性腫瘍でありながら再発を繰り返しその都度手術を繰り返さなければならない症例、病変が複数出現し上気道(気管や鼻腔など)にまで広がる再発性呼吸器乳頭腫に発展することもあります。喉頭に発生することから腫瘍が増大すれば窒息に至る可能性もある疾患です。さらに、約3%の症例で悪性転化をきたすことがあります。喉頭の良性腫瘍の中で最も発生頻度が高いものですが、その治療には上記の理由から難渋する例が多いのが現状です。 喉頭乳頭腫はHPV(Human papillomavirus、ヒトパピローマウイルス)というウイルスが関与することが知られています。どのようなメカニズムで難治性となるのかまた、どのようなメカニズムで悪性化するのかが分かっていない部分が多いものになります。 HPVが関連する頭頸部癌として中咽頭癌がありますが、中咽頭癌においてはHPV関連のものは非関連のものと比較し治療成績が良いことがわかっています。HPVの関与する喉頭乳頭腫の悪性転化例(HPV関連喉頭癌)においてもHPV関連中咽頭癌のように治療成績が良いものなのかについての結論はまだできていません。 本研究を通しこれらの課題の解明につなげていきたいと考えています。	
利用または期間提供を開始する予定日	研究実施期間	当院倫理委員会承認日 から 2025年10月までの予定
提供する情報の取得の方法	対象となる方	過去に又はこれから浜松医科大学医学部附属病院、共同研究施設(総合病院聖隷浜松病院、総合病院聖隷三方原病院、藤枝市立総合病院、金沢大学附属病院、国立国際医療研究センター病院、新潟大学医歯学総合病院、自治医科大学附属病院、静岡済生会総合病院、焼津市立総合病院、鳥取大学医学部附属病院、琉球大学病院、信州大学医学部附属病院、山梨大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、近畿大学奈良病院、奈良県立医科大学附属病院、千葉大学医学部附属病院、群馬大学医学部附属病院、東海大学医学部付属病院、沼津市立病院)で喉頭乳頭腫、再発性呼吸器乳頭腫、喉頭癌と診断された方
	使用する情報	情報: 病歴、治療歴、病理検体番号、カルテ番号 等 試料: 手術や生検で得られた組織
問い合わせ先 (拒否等受付窓口)	所属	沼津市立病院 耳鼻咽喉科
	氏名	佐々木 豊
	住所	静岡県沼津市東椎路字春ノ木550番地
	電話	055-924-5100(代表)